

「税金と未来」

加藤 和琴

税金が私たちの暮らしに対してどのような役割を果たしているのか。この問いに対して、夏休み前の私はどう答えただろうか。きっと教育や公共施設に役立っている、などと答えたであろう。これはもちろん正解で、税金は私たちの今の生活の中で大きな役割を果たしている。それでは、少し未来のことを考えてみよう。今の日本は争いがなく、平和だと感じている。では、未来でもこの平和は続くのだろうか。もちろん、私はこれからもずっとそうであってほしいと思う。

私はこの夏、ある場所の訪問を通して税金と平和の関係を学んだ。私が訪れたのは広島だ。やはり、広島と聞いてはじめてに思いつくのは原爆ドームではないだろうか。私は、写真などで見たことはあったが、実際に行ったことはなかった。私はそこで戦争の恐ろしさを目の前で実感した。その後、行ったのは資料館だ。資料館には多くの展示があり、全ての展示品が丁寧に管理されていた。原爆ドームも資料館もどちらも平和への思いが大きく示されている場所である。

そして、これらの場所の管理費はどこからきているのだろうか。そう、税金だ。原爆ドームの保存工事の費用の多くは寄付により集められたが、管理費用は税金も使われている。資料館も管理に税金が使用されている。このように税金が守ってくれた、作りあげてくれた施設のおかげで私は核兵器や戦争の悲惨さ一人一人の命の尊さを学ぶことができた。このような学びを多くの人が体験することにより、再び悲劇を繰り返さないことにつながっていくのではないだろうか。そして、これは広島に限った話ではない。東京にもこのような税金により運営されている平和を祈願した資料館がある。実は私たちの身近なところにも存在していたのである。

未来を創っていくためには過去を知る必要がある、と私は思っている。私にとって、そのような過去を知るきっかけを作ってくれていたのは税金だった。そして、更に多くの人の目に触れることで国の平和の発展につながっていくのではないだろうか。はじめはこんなに国の未来と税金が関係しているとは思っていなかった。だが、実際そうなのである。話がかなり大きくなってしまったが、税金というみんなのお金で国を守っていると考えると本当にすごいことだと感じた。

将来、私が働くようになり自分でお金を得るようになったら、しっかりと税金を払い、国の支えに少しでも協力したい。周りや未来のためにも、そして何よりも自分のために。